

学生、教員の皆さん、シラバスに関するアンケートに協力いただき、ありがとうございました。

次ページ以降に集計結果をまとめました。一つは1年生から3年生と、4年生から専攻科の学生の2つの集団で集計し、他方は1年生から5年生と、専攻科の学生の2つの集団で集計を行いました。専攻科学生の結果は、本科学生との結果と一部異なる傾向が見られますが、全体的には同じ傾向を示しています。

また、2003年度にも、同じ内容でアンケートを実施した部分がありますが、その結果と比較しても、同じ傾向が見られました。

問3の各項目で重要度を比較するために、レーダチャートにしました。グラフは最後のページにあります。

回収率を以下の表に示します。

	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	専攻科	学生全員
回収率(%)	98	94	85	86	78	71	87

教員の回収率(%)	58
-----------	----

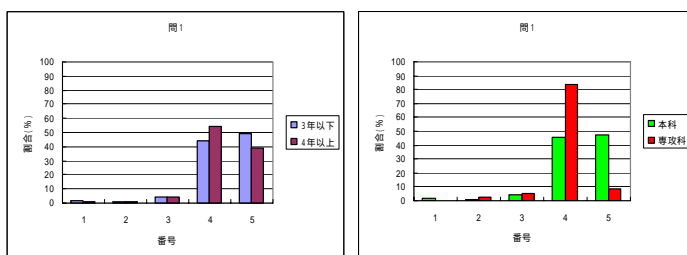
要望の中から、以下の改善案を教務主事室へお願いしたいと考えております。

1. コンパクト化(軽く、薄く、学科別、学年別、クラス別)を検討する。
2. 分かりやすい表現での記入、評価法の詳しい(テスト以外の評価法も)記入を、お願いする。

【例】

以下で、簡単にグラフの説明をします。

1. 学生を対象とした集計では、グラフが2つで1組です。



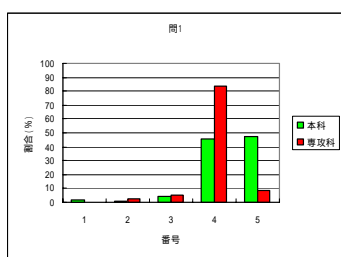
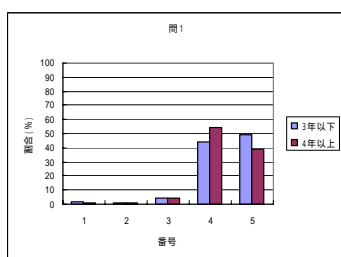
左側グラフでは、1年生から3年生(■■■■ 3年以下)、4年生から専攻科生(■■■■ 4年以上)の集計を表します。横軸は、アンケート番号または重要度に対応し、縦軸は集団の母数が違うために%表示です。

右側グラフでは、1年生から5年生(■■■■ 本科)、専攻科生(■■■■ 専攻科)の集計を表します。横軸は、アンケート番号または重要度に対応し、縦軸は集団の母数が違うために%表示です。

2. 教員を対象としたグラフでは、横軸は、アンケート番号または重要度に対応し、縦軸は人数表示です。

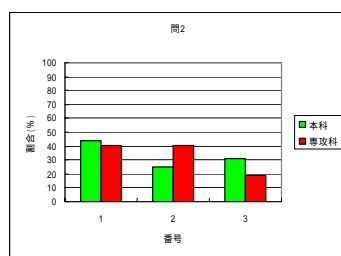
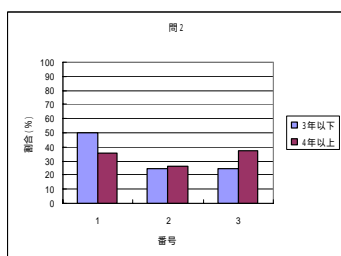
問1: あなたがシラバスを見る頻度を教えてください。

1: 毎時間前, 2: 1日1回, 3: 週1回, 4: 定期試験前(年4回), 5: 全く見ない,



問2: シラバスは冊子としてあった方がよいと思いますか？

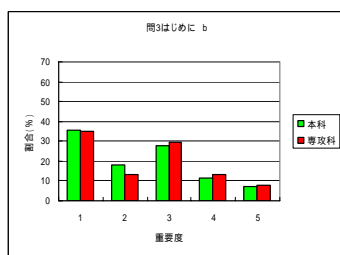
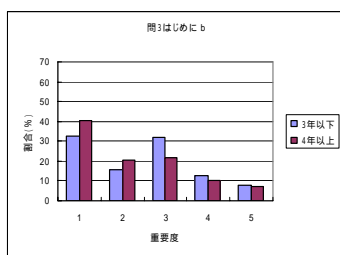
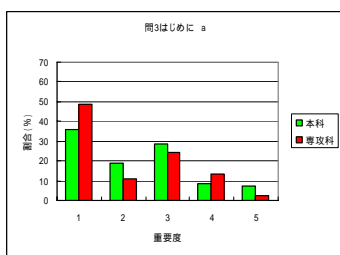
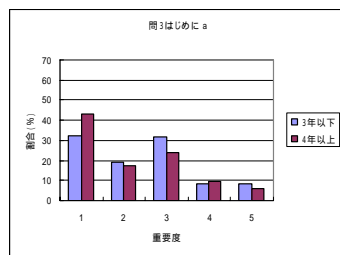
1: あった方がよい, 2: ホームページ上に掲載されていればよい, 3: 冊子としてはいらぬが, 科目毎に配ってくればよい



問3: あなたがシラバスを見る時の各項目の重要度はどれくらいですか？

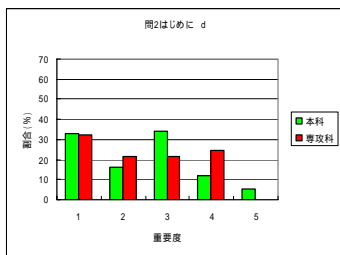
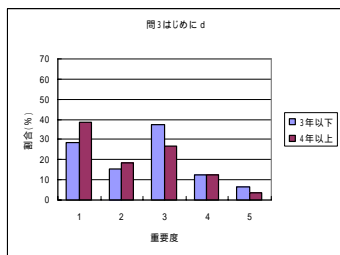
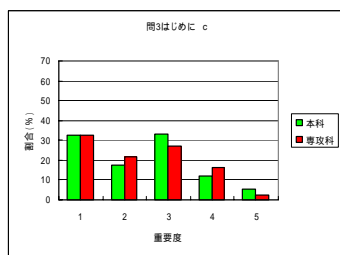
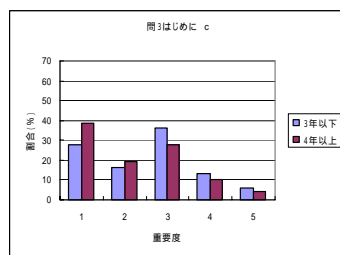
(5段階評価, 重要度が低い: 1 重要度が高い: 5)

はじめに



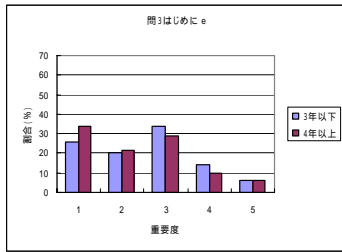
a: 徳山高専の学習・教育目標

b: 日本技術者教育認定基準

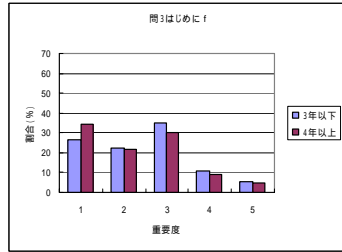
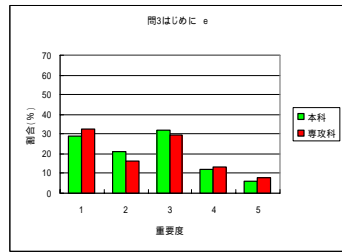


c: 一般科目カリキュラム系統図

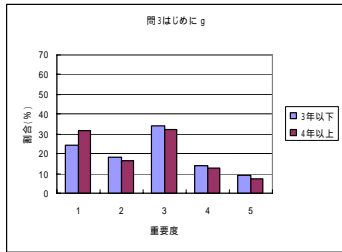
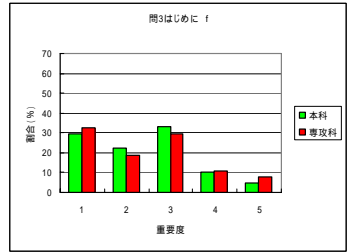
d: 各科(専攻)カリキュラム系統図



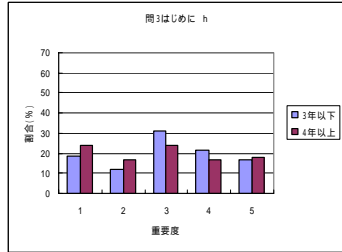
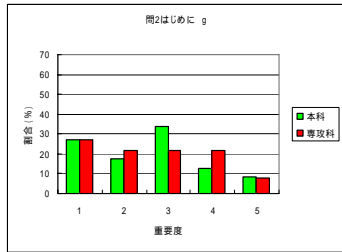
e : 数学系統図と講義内容



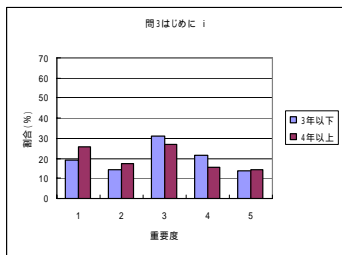
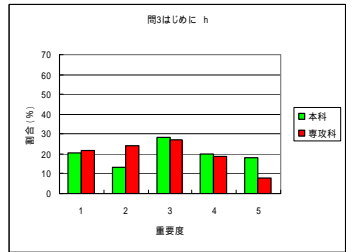
f : 物理系統図と講義内容



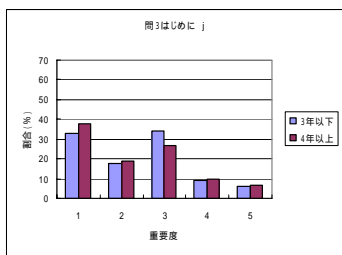
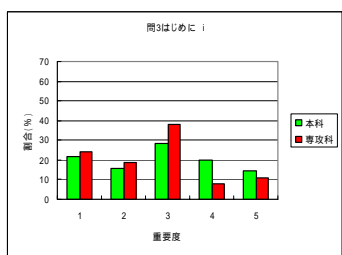
g : 各科(専攻)概要



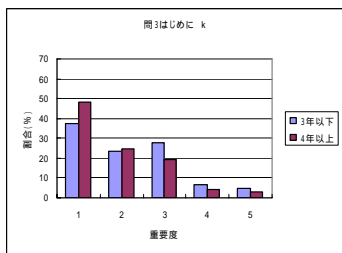
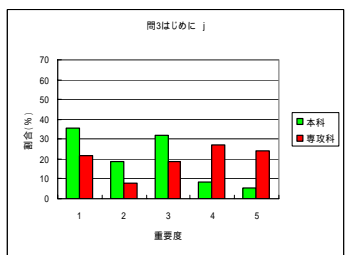
h : 資格への道しるべ(専門分野)



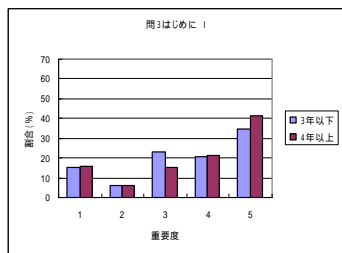
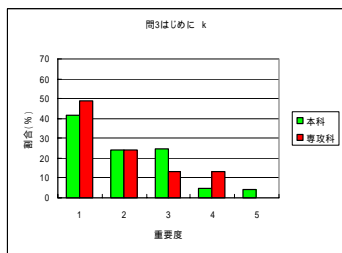
i : 資格への道しるべ(一般科目)



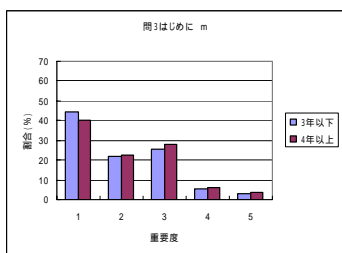
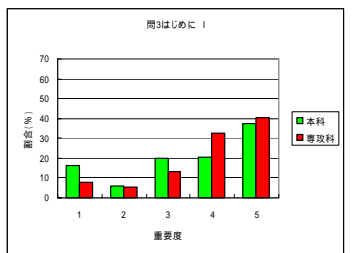
j : 設計情報工学プログラム修了要件



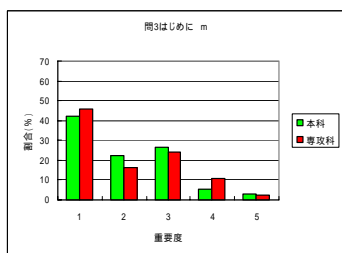
k : シラバスの解説



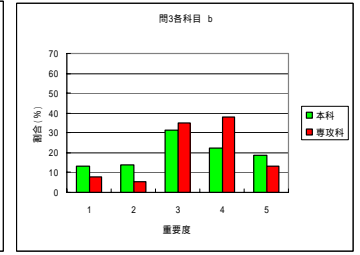
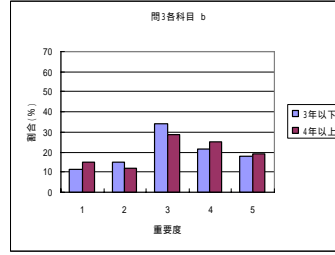
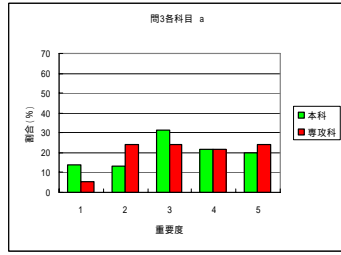
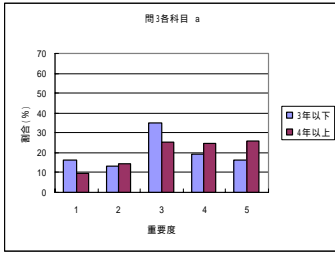
l : 授業時数および行事予定表



m : 推薦図書

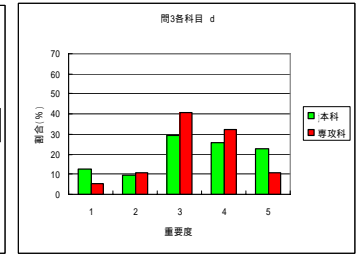
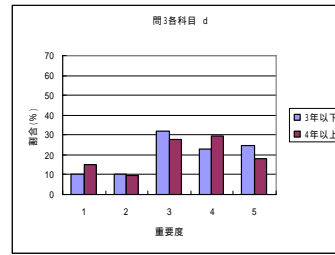
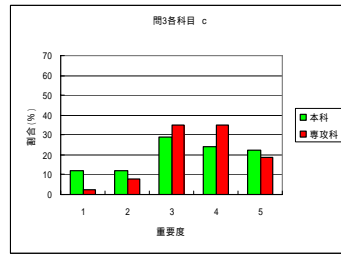
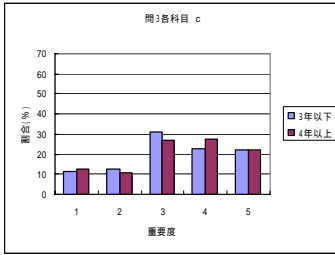


各科目



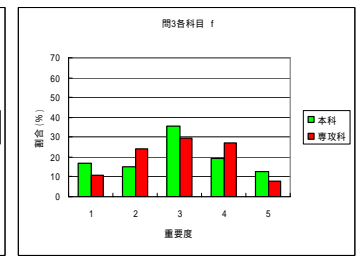
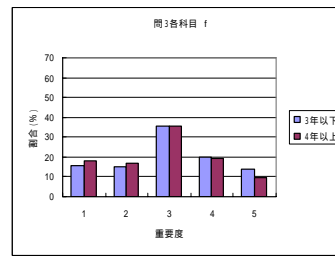
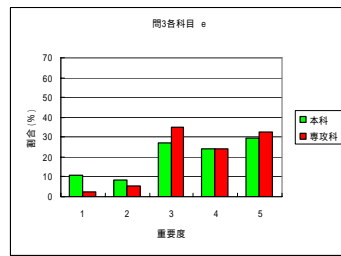
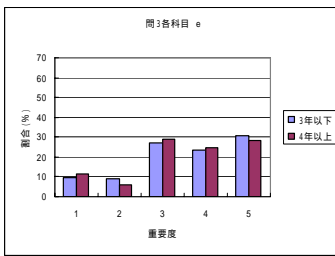
a : 担当教官

b : 授業の概要



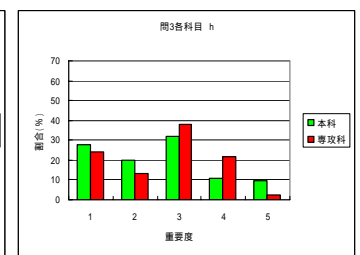
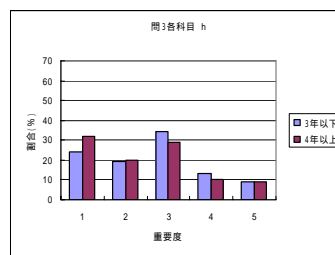
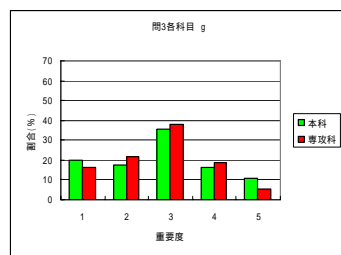
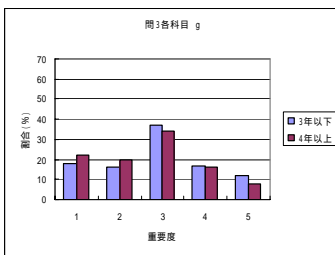
c : 授業の進め方

d : 授業項目



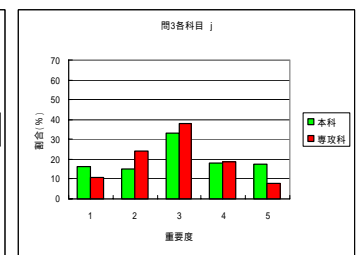
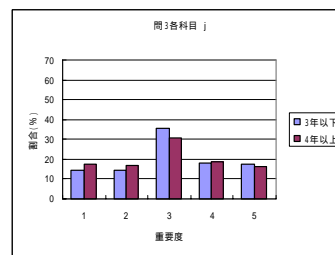
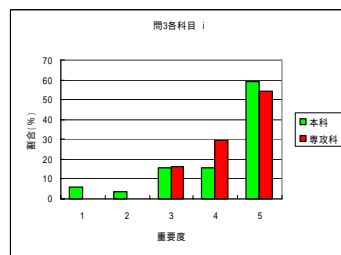
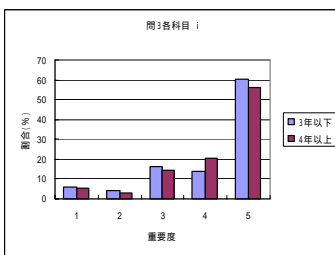
e : 内容

f : 到達目標



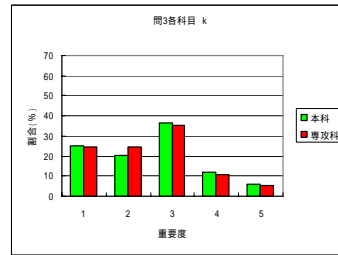
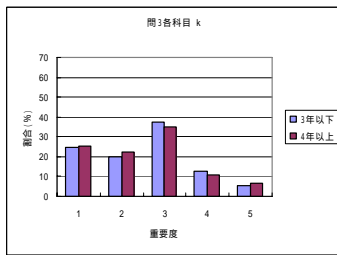
g : 学習・教育目標

h : JABEE 基準



i : 評価法

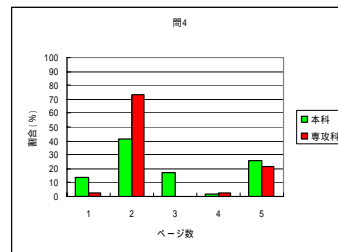
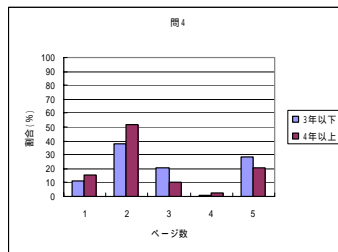
j : テキスト



k : 関連科目

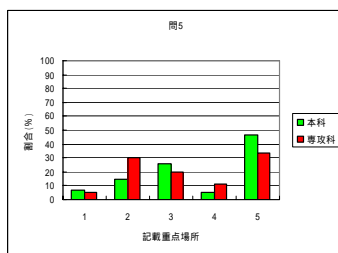
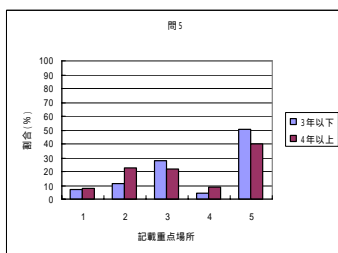
問 4: 1 科目の枚数は何ページぐらいが適当だと思いますか？

1 : 半ページ , 2 : 1 ページ , 3 : 2 ページ , 4 : 3 ページ , 5 : ページ数は規定しない



問 5: もしあなたがシラバスを書くなら、どこに重点を置きますか？

1 : 授業の概要 , 2 : 授業の進め方 , 3 : 授業項目 , 内容 , 4 : 到達目標 , 5 : 評価法



学生の要望

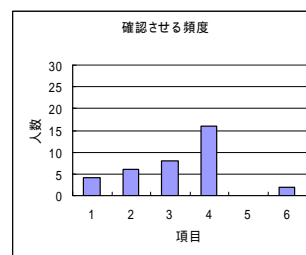
要望の上位 3 点を掲載します。

軽く、持ち運びが便利に (B 5、 A 5)	7 1
分かりやすく見やすく、学科別	3 4
現状でよい	8

教員を対象としたシラバスアンケート結果

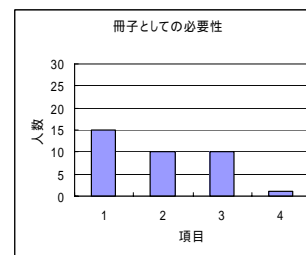
問1：学生にシラバスを確認させる頻度を教えてください。

- 1：毎授業開始時，2：章毎(1ヶ月に1回程度)，3：定期試験前(年4回)，
4：年度初めに1回，5：全く確認させない，
6：その他(問6で意見ををお願いします)



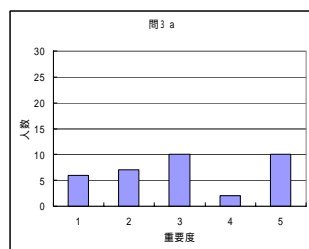
問2：シラバスは冊子としてあった方がよいと思いますか？

- 1：あった方がよい，2：冊子としてはいらないが，科目毎に配ればよい，
3：ホームページ上に掲載されていればよい(冊子としてはいらない)，
4：その他(問6で意見ををお願いします)

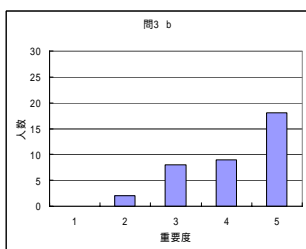


問3：あなたがシラバスを書くときの各項目の重要度を教えてください。

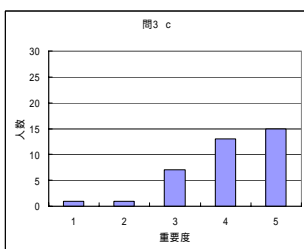
(5段階評価，重要度が低い：1 重要度が高い：5)



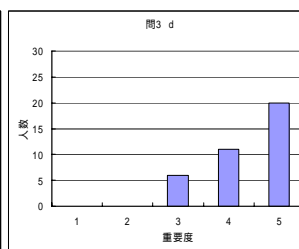
a：担当教官



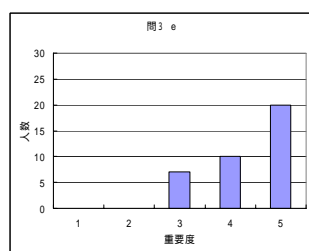
b：授業の概要



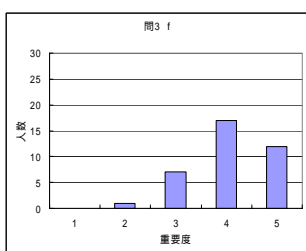
c：授業の進め方



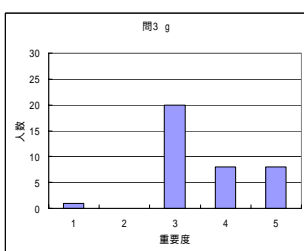
d：授業項目



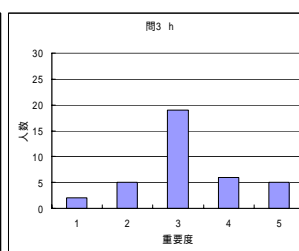
e：内容



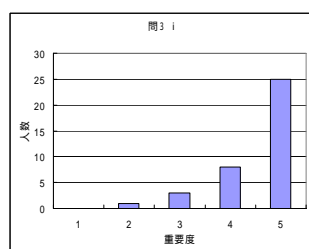
f：到達目標



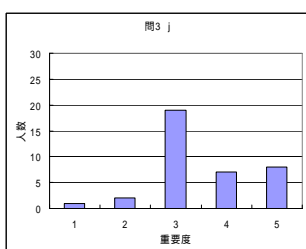
g：学習・教育目標



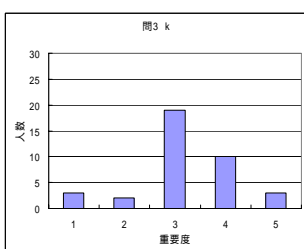
h：JABEE 基準



i：評価法



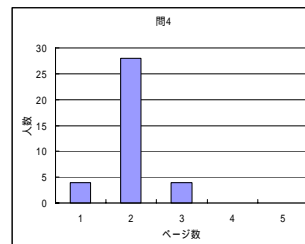
j：テキスト



k：関連科目

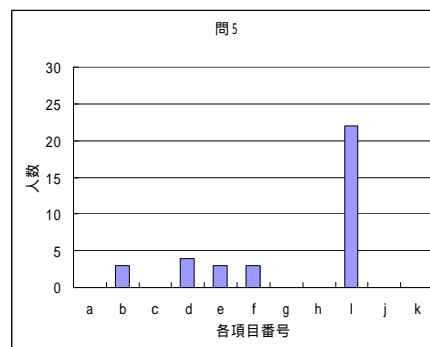
問4：1科目の枚数は何ページぐらいが適当だと思いますか？

- 1：半ページ，2：1ページ，3：2ページ，4：3ページ，
5：ページ数は規定しない



問5：学生の立場として考えた場合，問3の項目のうち最も重要度の高いものを1つ挙げてください。

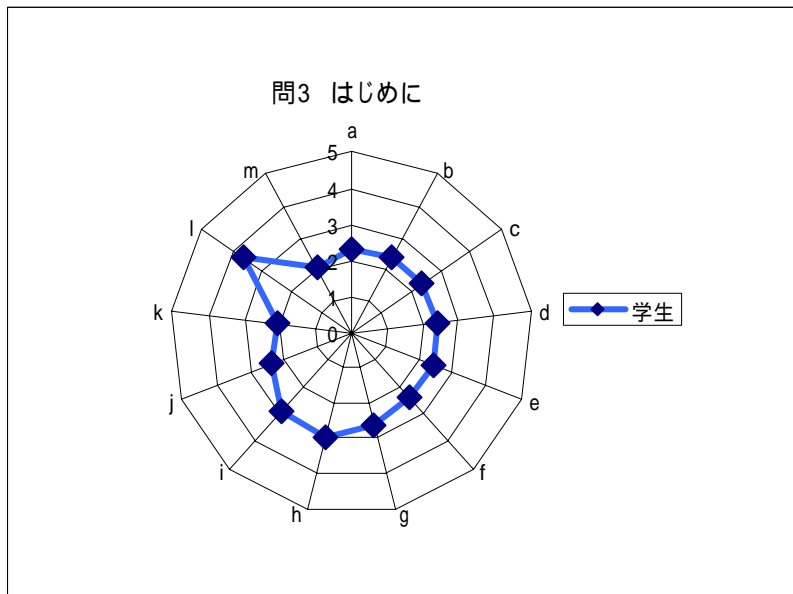
- a：担当教官 b：授業の概要
c：授業の進め方 d：授業項目
e：内容 f：到達目標
g：学習・教育目標 h：JABEE 基準
i：評価法 j：テキスト
k：関連科目



問6：シラバスに対して思うことを書いてください。

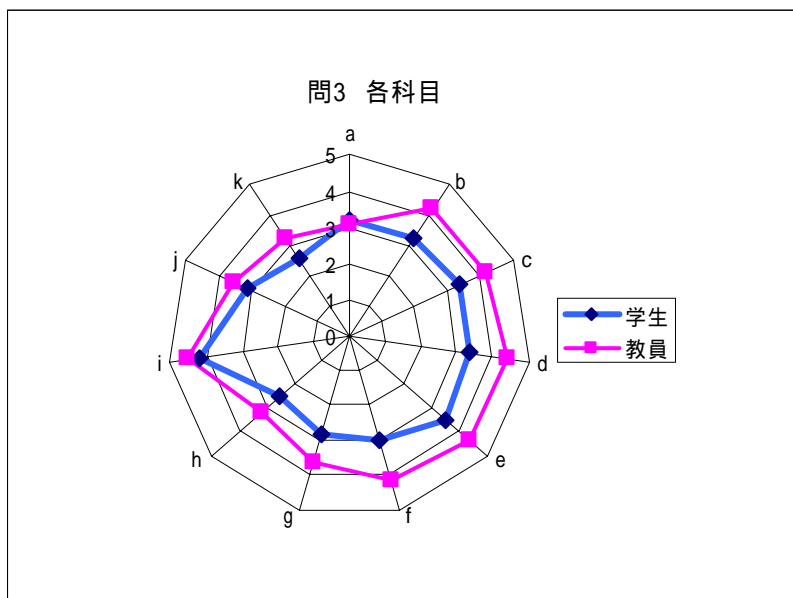
1. 詳細すぎる。(6名)
2. 冊子だけでなく、毎回配布する学習シートにも一部記述している。コピーして配布(5名)
3. 到達度は変わらずとも、実態に合わせて変更可能な自由度が必要。(2名)
4. 冊子としては、各教員と教室に2～3部常置している程度でよい。(2名)
5. B5サイズかつ軽くないか(2名)

問3の各項目を対象に、重要度の加重平均を行いレーダチャートにしました。「はじめに」の部分は、学生のみアンケートを実施し、「各科目」の部分は、学生（青の線）、教員（赤の線）にアンケートを実施しました。学生では、iの評価法の重要度が高くなっています。グラフに示されているアルファベットは、図の右側に記載されている項目です。



はじめに

- a : 徳山高専の学習・教育目標
- b : 日本技術者教育認定基準
- c : 一般科目カリキュラム系統図
- d : 各科(専攻)カリキュラム系統図
- e : 数学系統図と講義内容
- f : 物理系統図と講義内容
- g : 各科(専攻)概要
- h : 資格への道しるべ(専門分野)
- i : 資格への道しるべ(一般科目)
- j : 設計情報工学プログラム修了要件
- k : シラバスの解説
- l : 授業時数および行事予定表
- m : 推薦図書



各科目

- a : 担当教官
- b : 授業の概要
- c : 授業の進め方
- d : 授業項目
- e : 内容
- f : 到達目標
- g : 学習・教育目標
- h : JABEE 基準
- i : 評価法
- j : テキスト
- k : 関連科目